



TEBUFLOQUIN

水稻・大豆用殺菌剤

トライ

フロアブル

テブフロキン水和剤

農林水産省
第23264号

殺菌剤分類 U16



いもち病



稲こうじ病

新規化合物「テブフロキン」で

**いもち病に
高い防除効果!**

**稲こうじ病に適用拡大!
大豆にも使える!**

“1成分”で

予防
効果



治療
効果

W

の効果



自然に学び自然を守る



トライフロアブル

有効成分：テブフロキン…15.0% 人畜毒性：普通物※

※毒劇物に該当しないものを指している通称

特長 トライフロアブルの特長

●“1成分”で予防と治療Wの効果

●いもち病に対して直接抗菌力を示し、感染を阻害するだけでなく、病斑形成や伸長、病斑上の孢子形成を強く阻害し、いもち病のまん延を防ぎます。また、稲こうじ病にも効果を示します。

●新規有効成分“テブフロキン”

●トライ(テブフロキン)はミトコンドリア電子伝達系の特異的な部位に作用していると考えられており、既存剤と交差耐性を示しません。

●適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	テブフロキンを含む農薬の総使用回数
稲	いもち病 稲こうじ病 穂枯れ (ごま葉枯病菌)	1000倍	60~150ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布 無人航空機による散布 散布 無人航空機による散布	2回以内
		250倍	25ℓ/10a				
		8倍	0.8ℓ/10a				
だ이지	紫斑病	1000倍	100~300ℓ/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布 無人航空機による散布	2回以内
		16倍	1.6ℓ/10a				
		8倍	0.8ℓ/10a				

●試験成績

葉いもち(古川農業試験場内圃場、2011年)

【試験場所】古川農業試験場内圃場

【耕種概要】

品種：ひとめぼれ

播種日：4月22日 / 移植日：5月18日 / 出穂期：8月5日

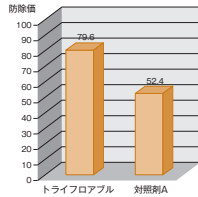
接種試験(接種日：6月21日)

【薬剤処理月日・処理量】

	7月7日	7月14日
トライフロアブル	1000倍	150ℓ/10a
対照剤A	1000倍	150ℓ/10a

【調査月日・方法】

7月21日に50株について株あたり病斑数を調査し、防除値をその平均値から算出した。



【結果・考察】…トライフロアブルは対照剤Aと比較し効果が高かった。

穂いもち(古川農業試験場内圃場、2011年)

【試験場所】古川農業試験場内圃場

【耕種概要】

品種：ひとめぼれ / 播種日：4月16日 / 移植日：5月11日 / 出穂期：8月5日

接種試験(接種日：6月21日)

【薬剤処理月日・処理量】

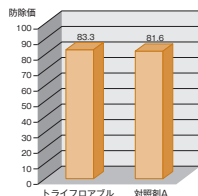
	7月29日(穂ばらみ期)	8月8日(穂揃期)
トライフロアブル	1000倍	150ℓ/10a
対照剤A	1000倍	150ℓ/10a

【調査月日・方法】

9月1日に各処理区30株について、発病程度の発病種数を調査した。防除値は被害度から算出した。

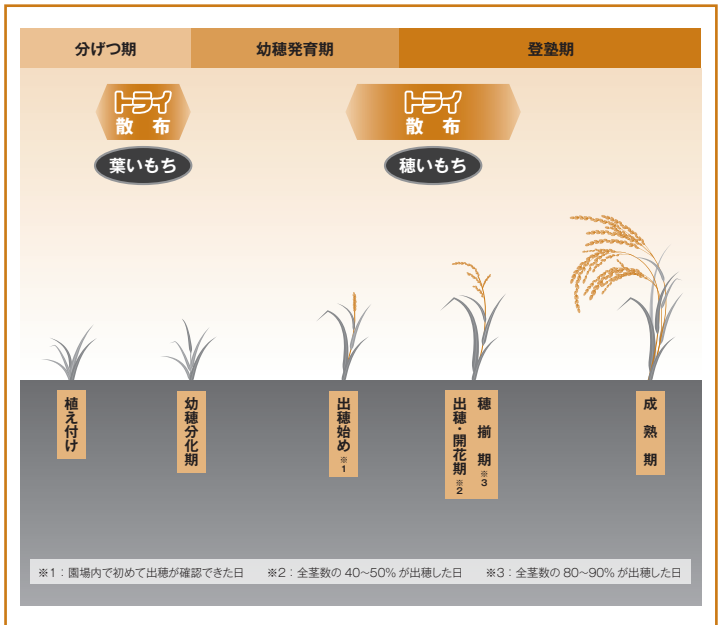
*被害度の算出方法 $a+b \times 0.66+c \times 0.26$

a: 穂首いもち率, b: 枝稁いもち率 1/3以上, c: 枝稁いもち率 1/3未満



【結果・考察】…トライフロアブルは対照剤Aと比較し、効果はほぼ同等で、無処理と比較し効果があった。

●使用時期(5月初旬植えの場合)



⚠ 使用上の注意

- 無人航空機による散布に使用する場合には次の注意事項を守って下さい。
 - 散布液の飛散によって他の動植物等あるいは自動車の塗装などへ被害を与えるおそれがあるので、散布区域内の諸物件に十分留意して下さい。
 - 微量散布装置以外の散布器具は使用しないで下さい。
 - 各散布機種種の散布基準に従って実施して下さい。
 - 散布中薬液の漏れのないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行って下さい。
 - 散布終了後は次の項目を守って下さい。
 - 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切って下さい。
 - 機体の散布装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は、河川等に流さないで下さい。
- 本田の水稲に対して希釈倍数250倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を用いて下さい。
- だ이지に使用する場合、薬害を生じるおそれがあるので、新葉にかからないように注意して散布して下さい。
- 周辺の作物にかかると薬害を生じるおそれがあるので、かからないように十分注意して散布して下さい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。
- 本田液調整後はそのまま放置せずできるだけ速やかに散布して下さい。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

●使用前にラベルをよく読んで下さい。

●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。

●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

●使用後の空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう、適切に処理して下さい。

●防除日誌をつけましょう。

⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせて下さい。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けさせて下さい。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石鹸でよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないで下さい。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、河川、養殖池等に飛散しないよう特に注意して下さい。

貯蔵上の注意事項…直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。保管：密封し、直射日光を避け、食品と区別して冷凍、乾燥した場所に保管して下さい。

お問い合わせ／ご注文は



自然に学び 自然を守る
クミアイ化学工業株式会社
本社：〒110-8782 東京都台東区池之端1-4-26 TEL.03-3822-5036
ホームページアドレス <https://www.kumiai-chem.co.jp>

